

# 情報科校外研修「万博見学」を実施しました

5月12日(月)、情報科1年生・3年生が校外研修として大阪・関西万博に行きました。

各国の展示を通じて最先端の技術や歴史・文化に触れるとともに、工夫された展示方法についても知ることができました。そして、今後の課題研究発表会での展示や発表での工夫のしかたを考えることができ、充実した研修となりました。

## 【生徒が考えたこと・感想】(一部抜粋)

### 1年生

- ・テーマに対して直接的な表現ではなく、テーマを見る人に感じ取ってもらえる作品のほうが心に響き残るということを感じました。
- ・海外パビリオンでの体験を通じて、これからも人間は選択をし続けていかなければならないと聞き、私も慎重に判断し、選択をしていきたいです。歴史や伝統を大切にするとともに、AIや自然との協力があってこそその未来なのだ分かったので、私自身どちらも大切に未来を作っていけたらよいと思いました。
- ・無駄がなく、統一した雰囲気を作ることで、私たちの命を紡ぐことが分かりやすく伝わり、伝統や文化をつないでいくという意味が感じられた。今回の見学を機会に、もっと伝統や文化を知り、どのような人がどのようなことを大切にしているかの理解を深めたい。

### 3年生

- ・パビリオンは、映像で伝えるだけでなく、屋外コンサートでもその国の文化を肌で感じる事ができ、実際に技術を体験できる場所もあった。五感を使ってテーマを体感することができた。
- ・三人称視点で未来の街を飛び回っているような動画を見て、その街を飛び回っているときのカメラワークや視点の切り替えなど、風景の映像を作るうえで参考になった。
- ・会場のパビリオンのデザインが興味深かった。曲線的、球体、立方体などベースの形は似たようなものでも、それぞれの国の文化・伝統をデザインに落とし込んだり、装飾品を組み合わせることで全く違ったものになるのがおもしろかった。

